

沼倉千紘さん『デフアスリートインタビュー』（7月11日配信）

インタビューよろしくお願ひします。

千) お願ひします。

お名前は？

千) 沼倉千紘です。

デフリンピック、おつかれさまでした。

千) ありがとうございます。

団体銀メダル獲得、おめでとうございます。

千) ありがとうございます。

歴代最高順位ですが、感想をお願いします。

千) 今まで、デフリンピックでメダルを取ったことがなかったですし、これまで団体戦で2位以上をとったこともなく、初めて銀メダルを取れたので本当に嬉しいです。応援してくれた方たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

長距離移動の疲れは？

千) 長距離のフライトは本当に疲れしました。いちばん影響があったのが脚のむくみで、長時間座りっぱなしだったので脚に血が溜まってむくみ、2日くらいずっと脚が痛かったです。

一番印象深い出来事は？

千) 国際大会が開催されるのがすごく久しぶりで、アジア大会が開かれる予定もあったのですがコロナで中止になってしまいました。久しぶりの国際大会で、選手のレベルがすごく上がっている国もあれば、あまり変わっていない国もありました。レベルが上がった国というのは、国を挙げての応援やサポートがあって、力を入れて取り組んでいたのかなと感じる国もありました。国によってデフスポーツの価値に違いがあるなというところが印象に残っています。

外国人選手とのエピソードはありますか？

千) コロナ禍でのデフリンピックでしたので、あんまり海外の選手と交流できる機会はありませんでした。でも、久しぶりに会えた選手と、試合の時は競い合っている、それ以外の時間は仲良くおしゃべりができたのは嬉しかったです。

裏話はありますか？

千) 言える範囲で。

私は、ブラジルで（コロナ）陽性になり現地に残ったんですね。隔離期間が明けた後、初めてブラジルを観光できたんです。デフリンピックの開催期間中はホテルなどにずっとこもる生活でしたが、隔離が終わった後にブラジルの街を見て回ることができました。その時にスラム街を映画やインターネットで見たことはあったのですが、実際には見たことがなく、初めてスラム街を見て、こういうところなのかとびっくりしました。

全日本ろうあ連盟がデフリンピック日本招致に動いていますが、どう思いますか？

千) ぜひ日本で開催して、日本のみなさんにデフリンピックを今よりももっと知ってもらいたいです。

日本開催となった場合、なにかできることはありますか？

千) 今回、以前に比べてデフリンピックを知っている人が増えたと思います。それを他の人にももっと広めて行ってほしいなと思います。

ありがとうございました。